

Library Mate

～ 広がる図書館の役割 ～

学長 飯塚 幸子

皆さんもご承知の通り、本学図書館では「インターネットで文献探索」を配布して内外から注目を集めています。今回は日本図書館協会によって学外へも販売されました。世界中をネットで結びさまざまなデータを利用する時代がきて、図書館の役割も大きく変わってきました。現に、本学の図書館にも外国からメールでの問い合わせがあって対応していると聞きます。図書館はこれまでのように情報を集積するだけでなく、情報を開示し発信する役割を果たさなければならなくなりました。

大学の図書館は、平均的に備える蔵書だけでなく充実した得意の分野をもってその独自性を打ち出してゆくことが、今後は必要になってくると思われます。利用者にとっても目的の情報が探しやすくなることは勿論、より専門的な情報が得られることとなります。本学ではどういう特色をこれから構築していくかが今後の重要な課題と思われます。

第2次大戦後、全焼した図書館を先輩がたは復興させて、現在でも実践が誇る古典籍のコレクションを揃え残してくださいました。21世紀のいま私たちは、今までの蓄積された蔵書を守りながらその情報を開示して広く役立たせ、生かして行く様に考える時だと思ふのです。それには電子図書館に向けて

の準備を着々と進める必要があります。蔵書の電子化が行われれば、貴重な蔵書の活用も容易になります。また翻訳ソフトによって言葉の壁を越えて外国の本を読むことができます。

さらに音声情報に変換すれば眼の不自由な人に情報を届けることも可能です。

これからの図書館は、それぞれの持つ特徴を生かしながら、相互に利用しどこからでも、誰でも、いつでも情報を得られるようにネットワークの力を発揮していくことになるでしょう。

私たちはネットワークを利用すれば欲しい情報が直ちに入手できる環境の中にいるわけですが、膨大な情報の海のなかから必要な情報を的確に得るのはそう簡単ではありません。それには図書館を活用し、自分で探索しながら習得していくことをおすすめします。



図書館 今昔(こんじゃく)

- 私の図書館体験から -

短大 図書館学課程 教授 石井 紀子

思えば、私の図書館体験も約半世紀にわたっている。その間、利用者であったりサービス側であったりと立場は変わりはしたが、この50年はまさに近代図書館の誕生から高度情報社会のなかでの情報拠点への歴史であったと言える。とくに1980年代以降、OA化の波を受け図書館のシンボルであったカード目録が消滅する等の変化を余儀なくされ、さらにここ3年はインターネットの急激な普及により、一館の壁をこえネット上世界中の図書館の蔵書を検索できるグローバルな「知的空間」が出現するなど変革いちじるしいものがある。そこでこの機会に、私の図書館体験を振り返ってみよう。

私の図書館体験の原点は、1945年11月、あたり一面空襲の爪跡が残る有楽町の日東紅茶ビル内に開設されたCIE(民間情報教育局)図書館であった。占領軍の文化政策の一環とはいえ、終戦からわずか3ヶ月後のことだった。窓ごとにアカアカと燃えるストーブの火や柵一面にきれいな洋雑誌が見え、中に入ると洋書が手にとれるし貸出も自由、親切なライブラリアンの案内 - 餓えと寒さに震える身にとっては、“夢の国”であったが、これがわが国の近代図書館のモデルとなった。今でも脳裏に鮮やかに残るあの光りが、私を図書館の世界へ誘ったと言っても良い。

1949年高校生であった私が利用したのは、九段坂下にあった堅牢な洋館の大橋図書館であった。1902(明治35)年、博文館社主の大橋佐平により私立図書館第1号として開設され、関東大震災後もいち早く再建、終戦時には蔵書20万冊を誇っていた。出納係の職員の側に貸出用の本が並んだ一郭があり、金網越しに見える本の背を押し貸し出ししてもらい、いわゆる「パチンコ式開架(半開架)方式」を体験した。

1950年大学入学、その年に「図書館法」が成立し、今日につながる公共図書館サービスの基本方針が打ちだされ、これを出発点として貸出や自動車文庫など、人々の生活に身近なサービ

スが実施されていく。一方、大学図書館は参考図書室は設けられたものの閲覧は旧態依然の出納式であり、開架式になるのは1960年代以降である。

1948年には国立国会図書館が当時の赤坂離宮(現迎賓館)に開設されたが、私が利用したのは満20歳をむかえた大学3年生になってからである。この開設にあたっては、米国議会図書館の専門家などの助言のほか、戦時中言論弾圧で獄中につながれた羽仁五郎、中井正一等思想家が加わっており、その結果「国立国会図書館法」の前文に、「真理がわれらを自由にするという確信に立って、憲法の誓約する日本の民主化と世界平和とに寄与すること」を使命とするとうたわれている。大理石の階段に敷きつめられた赤じゅうたん、豪華なシャンデリアのもと一段一段昇って2階の開架室へたどりつく。それまで大衆が立ち入ることを赦されなかった建物が“解放された”という実感と感激を忘れることはできない。考えてみると、結局私が司書の途へ進み、公立図書館を選んだのは、CIE図書館と国立図書館との出会いがあったからだ。

1957年から16年間、新装なった近代的図書館としての日比谷図書館で伊豆諸島を含む都内全域への直接サービスなどを担当し、続いて7年がかりの有栖川図書館建設の企画・立案を手がけ、一生の間に二つの図書館の開館を経験した。その後20年間は現場を離れ、民間企業で書誌・索引、データベース編集など図書館のためのツールづくりに専念、ようやくこれらが現場で活用されている。

そして、今図書館は2002年に開館予定の国立国会図書館関西館がめざす電子図書館時代を向えようとしている。いつでも、どこからでも、欲する資料をネット上見られる非来館型の図書館 - “library with-out walls”(壁のない図書館)が出現した時、図書館サービスはどのような変貌をとげるのであろうか。

英国で読んだ日本の本、 聴いたCD など

大学 英文学科 助教授

興 石 哲 哉

まず、英国で読んだ日本の本の中からいくつか。久しぶりに小泉八雲の作品を読み直し、Kokoro (Tuttle) に改めて感動しました。日本では伝統的な建築物などをすぐ壊して新しいものを建ててしまいますが、八雲が百年前にこのような日本の文化の特徴を既に指摘していたのは驚きです。特に印象に残ったのはKimikoという小品ですが、そこに描かれていた、結局は忘れられる運命にあるのだと思うことの意味を、銅像だの記念銘だの記念碑だのに満ちあふれているエジンバラの街で改めて考えさせられました。

加島祥造の『英語の辞書の話』正・続 (講談社) は、僕が英語をやると思ったきっかけになった本です。久々に読み直してみても、人文的な観点からの言語の捉え方に改めて感動を覚えました。志村正雄との対談、『翻訳再入門』(南雲堂) も、とても面白く読みました。同書で印象的だったのは、二人が、翻訳を一種の倫理的行為として捉える立場に立っていることです。

言語ものでは、橋本萬太郎『現代博言学』(大修館)、橋本編『世界の中の日本文字』(弘文堂) が知的好奇心を大いに刺激してくれました。前者では、統語マーカ、音韻論の類型地理、比較方法についての章に感銘を受け、後者では、欧州の言語に漢字があったら、と考える辺りがとても面白かったです。専門性の陥穽に陥らないためにも、アナロジーに基づき思考を飛躍させることが必要だと思いました。

酒井不二雄『ボールペンすけっち案内』は、英国の石造りの家々に飽きたときなど、僕に日本を思い出させてくれた本です (特に赤羽の辺りの絵が秀逸)。酒井は、徹底した現場主義を貫く、ボールペンすけっちの画家です。

4月の国際交流センターの講演の際のネタ本になったのは、藤原和博『自分「プレゼン」術』(筑摩書房) です。英語でプレゼンなどやる際に感じたのは、なぜこんなにプレッシャーを感じ

るのか、ということでした。ところが、この本を読んで、自分が英米流のプレゼンにとらわれていたことに気づかされました。以後、弱みを強さに変えていく日本人流のプレゼンを考えるようになり、本来の自分らしさを取り戻すことができ、楽になりました。就職を目指す4年生は読んでおいて損のない本だと思います。

僕にとって一番の収穫は宮崎学『神に祈らず

大杉栄はなぜ殺されたのか』(飛鳥新社) を読んだことです。とにかく去年1年間に読んだ本の中では圧倒的な迫力を持った本でした。アナキスト大杉の生き方を辿りながら、全てのものに頼らず、自分の力で人生を生き抜くとはどういうことなのか、改めて考えさせられ、とかく後ろ向きになったり、言いわけを考えたりする自分へのよい反省となった次第です。もちろん、大杉だけでなく、著者の宮崎の型破りな生き方も、この本に大きく影響しています。

CDの話に移りましょう。皆さんはCDショップなどに行って、その時オンエアされている音楽のCDが欲しくなったことはありませんか。去年1年は大体スコットランド音楽を聴き通しの一年でしたが、偶然、ある米国女性歌手のCDをエジンバラのHMVで聞き、その声の表情の豊かさ、奥に潜む悲しさに衝撃を受けました。レジで名前を尋ね、彼女がEva Cassidy (故人) のSongbird (Blix Street) というCDであることを知りました。米国の歌手ですが、BBCで採り上げられ、英国で随分ヒットしたようです。帰国してからよく聴いています。

他にもスコットランド関係の本で面白かったものがいくつかあるのですが、それらについてはまたの機会に譲ります。(文中敬称略)



Librarian's Selection

1 .本日発売です!

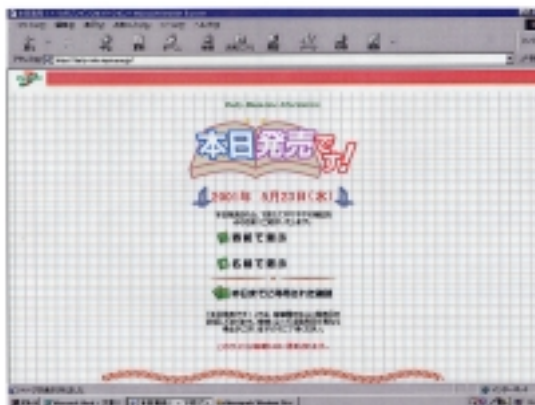
(<http://daily-info.topica.ne.jp/>)

電車の中吊り感覚で雑誌約70誌の紹介が見られる。雑誌を表紙または誌名から選び、その号の目次を画像で確認することができる。曜日別で見えていくと、月曜日はAERAやエコノミスト等のニュース・ビジネス雑誌、火曜日はマタニティ・育児雑誌、水曜日はテレビ情報誌等の発売傾向があるのが分かる。3、6、12ヶ月の定期購読もできる。類似サービスとしては、「明日の雑誌早読み！」を副題に持つDatum (<http://www.zasshi.com/>) がある。こちらは目玉記事の紹介と、有名週刊誌32誌の記事検索が3週間分できる。「10年前の今日」では、10年前に発売された雑誌掲載記事が紹介されている。本文はどちらも掲載されていないので、本屋や図書館を訪れて、内容は自分の目で確認して下さい。

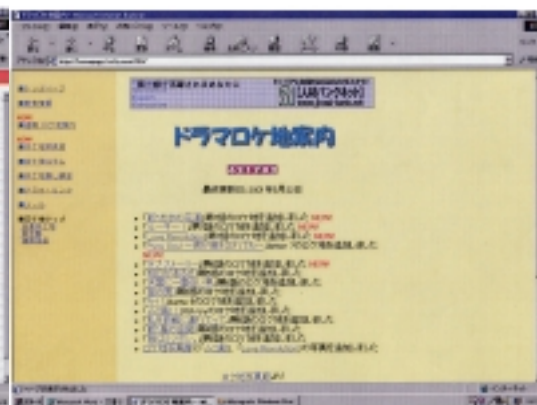
2 .現代用語の基礎知識2000年版

(<http://www.infoseek.co.jp/>)

1948(昭和23年)から自由国民社により出版され続けている老舗の新語・現代用語解説辞典が検索エンジンinfoseekの最新サービスとして検索できるようになった。フリーワード、もしくは9つのカテゴリ(国際情勢、政治、スポーツ・趣味等)のジャンルを辿ることからも検索できる。但し、最新版(2001年版)でないため、項目の説明が多少なりとも現況に合わない欠点があるが、レポート等の下調べには是非使いたい。また、付録の「カタカナ語・略語辞典」も検索できる。



1 . 本日発売です!



3 . ドラマロケ地案内

3 . ドラマロケ地案内

(<http://homepage1.nifty.com/BH/>)

TVドラマの別の楽しみ方として、ロケ地探しがある。数年前、フジテレビ系列のドラマ「GTO」の舞台・武蔵野聖林学苑として本学短期大学校舎が使われていたことがあった。その他、類似サイトとして、「東京ロケ地ガイド」(<http://member.nifty.ne.jp/location/>) 「ロケ地フリーク」(<http://www.ne.jp/asahi/kuginukitei/japan.com/roketi01.html>) 等があり、どれも力作揃い。ロケ地訪問ガイドとして、その場所を訪れてみるのもいかがでしょうか。

4 . Excite翻訳

(<http://www.excite.co.jp/world>)

英語サイトを日本語表示に翻訳してくれる心強い味方。検索エンジン Excite の新サービス。日本語サイトを英語表示に翻訳することも可能。また、テキスト翻訳 (和訳・英訳可) も用意されており、外国へのe-mailの下書きに使えるのではないだろうか。これにより辞書片手のネット・サーフィンから開放されたも同然だが、その訳が正しいかどうかの判断はやはり個人に委ねられるので、個人の英語力をよりアップさせておく必要がある。

『館員の横顔』

- 図書館の仲間入りをして -

伊藤美穂

みなさん、こんにちは。この4月より、囑託として主に大学図書館で働いている、伊藤美穂と申します。

仕事は、和図書の受け入れを中心にやっています。この仕事は、書店から届いた本を、皆さんが図書館の本として利用できるように、データを入力したり、装備したりし、書架に並べるといった仕事です。

皆さんの中には、大学や短大の図書館というと、専門書などの難しい本ばかりで、堅苦しいという印象を持っていて、図書館を敬遠されている方もいらっしゃるかもしれません。

図書館には、日々たくさんの本が入ってきます。授業で使用する専門書はもちろんですが、小説や旅行のガイドブック、ファッション雑誌など、そしてビデオなどのAV資料も置いてあります。

もし、読みたい本が実践の図書館にない時には、希望を出していただければ、購入することや、他の図書館から借りることなども出来ます。

大学図書館には、ブラウジングコーナーという場所もあり、ソファに座り、外の景色を見ながら、のんびり読書、なんていうことも出来ます。図書館の本というのは、皆さんに利用していただくことによって価値が出てくるものです。

休み時間など時間があるときには、是非、図書館に足をのばしてください。

皆さんが、どんどん図書館を利用してくださり、皆さんと図書館でお会いすることを楽しみにしています。

私も皆さんの質問などに、的確に答えられるよう、日々、頑張ってお勉強しています。

どうぞよろしくお願ひいたします。

学生に薦める本

モダンガール論:女の子には出世の道が二つある

斎藤美奈子著 マガジンハウス 2000 .12

(大学・短大図書館 所蔵 367 21 / Sa25)

大学 美学美術史学科 助教授

児島 薫



斎藤美奈子の文章は話し言葉にきわめて近い。一つ一つの文が短く、単刀直入であり、わかりやすい。この本も一冊丸ごと、元気な口調で語られている。本のサブタイトルに「女の子には出世の道が二つある」

とうたわれているが、これは女性がステータスアップするには、自ら社長になる方法と社長夫人になる方法がある、という意味である。つまり結婚も仕事(あるいは自分の生き甲斐)も成功させたい、という究極の目標に向かってすすんできた若い女性たちの歴史を丁寧に追っている。

近代の「女性史」やフェミニズムの歴史研究を読むと、あまりに女性がしいたげられた状況を知ってたまらなく暗い気分が襲われることがよくある。しかしこの本ではそうした心配はいらぬ。もちろん今より何倍も女性が男性よりも社会的に閉ざされた状況があったのは確かだが、斎藤は直接社会批判をおこなわない。女性雑誌や新聞記事などにもとづき、無名の人々の声を拾うことによって、あくまで、そのときの女性たちの立場に立ってポジティブに想像力を働かせる。今から見れば悲惨な仕事、笑ってしまうようなわずかなメリット。それでも少しでもいい仕事、楽な暮らしは憧れの的となった。そのヒエラルキーはそのまま近代日本社会の縮図である。そして読み終わる頃には、女性たちの活動の場がいかに限られたものであったのか、なぜそうだったのかに自然に気づくだろう。斎藤の本は、近代の女性職業史としてもわかりや

すいものであり、また「もっと知りたい人のための文献案内」も載っているの、ぜひ学生のみなさんに気軽に手にとってほしい本である。

ところで斎藤美奈子の文章が話し言葉にきわめて近いと書いた。そういえば明治時代に「言文一致」ということがおこなわれて、漢文漢語調の文体から「口語」が書き言葉に取り入れられたはずではなかったか、と思うならば、斎藤の文章に比べて一般のアカデミックな文章が話し言葉ではないことに気がつくだろう。小森陽一『小森陽一ニホン語に出会う』(大修館書店、2000年)は、その現実に深刻に直面してしまった人の話である。今で言う「帰国子女」として海外から帰国したコモリ君は日本の小学校で流ちょうなはずの日本語を笑われる体験をした。両親が日本人であり、読書もしていたはずなのに、彼の話す日本語は現代の口語ではなく、「書き言葉」だったのだ。前掲の本には、そうした「バイリンガル」少年の彼がいかにして近代日本文学の研究者となったかが綴られている。少年期の体験をもとに、小森は明治前半期に生み出された「言文一致体」を基礎にした「近代口語」のナショナリズムを論じてきた。その成果は、近年のイ・ヨンスク『「国語」という思想 近代日本の言語認識』(岩波書店、1996年)をはじめとする活発な「日本語」をめぐる議論を踏まえて『日本語の近代』(岩波書店、2000年)にまとめられている。この中で小森も論じているように、「近代口語」とは、東京山の手教養人たちの言葉として人工的に作りあげられたのであり、そのなかで、それまでになかった男言葉と女言葉の使い分けも生まれたのであった。同じ頃、美術においても作り手としての男性芸術家とモデルとしての女性の役割が成立していったことなどを考えあわせると、近代日本美術史を研究する筆者にとっても、こうした「日本語」をめぐる議論は興味深い。

Library Mail

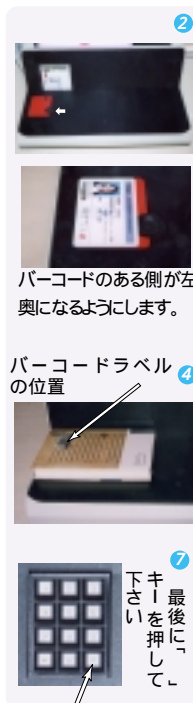
自動貸出機の使い方

今年度の利用ガイドの表記に間違いがありました。以下のように訂正します。

2～4年生教職員の方へ 自動貸出機の手続き方法が昨年度までと多少変更になりました。主な変更点は、カードを読み取らせただ後、カードを取ってしまう事と、終了時に「」キーを押さなければならないことです。

- ① 借りたい図書と、学生証・図書館利用証（教職員・卒業生）を持って、自動貸出機のコーナーへ。
- ② 学生証・図書館利用証を貸出機の台の上の赤い部分におきます。
- ③ 学生証・図書館利用証を読み取ると、利用者名が認識され「カードをお取り下さい」とメッセージがでます。学生証・図書館利用証をお取り下さい。
- ④ 「借りたい本を置いてください」というメッセージがでます。本の背を奥にして、バーコードが左奥になるように図書を置きます。
- ⑤ 「本をお取り下さい」というメッセージが出るまでそのままお待ち下さい。
- ⑥ 2冊目以降を借りる場合は、そのまま次の図書を置いて下さい。
- ⑦ 全ての図書の手続きが終了したら、画面右下の「」キーを押して下さい。返却期限等が書かれたレシートが印刷され手続き完了です。

エラーメッセージが出て手続きできなかった場合は、カウンターにお聞き下さい。
自動貸出機で手続できない資料 - 雑誌・AV資料



視聴覚資料にDVDが加わりました!! - 短期大学図書館 -

短大図書館では、昨年度末から視聴覚資料の新メディアとしてDVDソフトの購入を開始しました。ジャンルは主に映画が中心です。(もちろん、リクエストしていただければ他のジャンルの作品も購入します。)初回購入作品の一部は、別表のとおりで、著作権処理の済んだソフトについては貸出ができます。なお、今年度より視聴覚資料の貸出期間を3日間から1週間へ延長しました。

今後の購入についても、ビデオカセットからDVDへ徐々に移行させようと考えています。

【短大図書館所蔵DVDソフト（一部）】

請求番号	作品名	監督	製作年・国	貸出
40000	愛の奴隷	ニキータ・ミハルコフ	1976年 ソビエト	
41600	エルム街の悪夢	ウェス・クレイヴン	1984年 アメリカ	×
42401	ゲッタウェイ	サム・ペキンパー	1972年 アメリカ	×
44000	キリング・フィールド	ローランド・ジョフィ	1984年 アメリカ	×
44001	汚れなき悪戯	ラディ斯拉オ・バボダ	1955年 スペイン	
44003	恋におぼれて	グリフィン・ダン	1997年 アメリカ	×
45800	オズの魔法使	ビクター・フレミング	1939年 アメリカ	×
46600	リック	ボジダール・ニコリツ	1988年 アメリカ	
47000	シューティング・フィッシュ	ステファン・シュワルツ	1997年 イギリス	

❀ ❀ ❀ いんふお-め-しょん ❀ ❀ ❀

2001年7月～2001年11月

大学図書館

開館時間

通常 月～金 8:50～18:45
土 8:50～16:00

試験期(7/2～7/27)

月～金 8:50～18:45
土 8:50～17:00

夏休み期間(7/30～9/20)

月～金 9:00～16:00 土曜閉館

休館日

書庫整理日:毎月末の火曜日

夏休み期間:毎週土曜日 8/9(木)～8/18(土)

試験期の貸出

7/2(月)～7/24(火) 3日間貸出

夏休み特別貸出

期 間:7/25(水)～9/12(水)

冊 数:無制限

返却日:9/26(水)

卒論作成者のための特別貸出

対 象:博士論文・修士論文作成者
卒業論文作成者(全ての学科)

受付期間:10/1(月)～11/8(木)

貸出期間:貸出日から30日間

冊 数:無制限

特別貸出対象資料は、図書のみです。

指定図書・雑誌は通常貸出です。

短期大学図書館

開館時間

通常 月～金 9:00～17:30
土 9:00～16:00

試験期(6/11～7/24)

月～金 9:00～18:00
土 9:00～16:00

夏休み期間(7/30～9/20)

月～金 9:00～16:00 土曜閉館

休館日

書庫整理日:月中旬の水曜日

夏休み期間:毎週土曜日

8/6(月)～9/7(金)は、夏季休業及び
蔵書点検のため休館。

試験期の貸出

7/2(月)～7/24(火) 3日間貸出

夏休み特別貸出

期 間:7/25(水)～

冊 数:図 書 無制限7/25(水)～9/12(水)
A V 資料 6 点7/25(水)～9/19(水)
指定図書 3 冊7/25(水)～9/20(木)

返却日:9/26(水)

雑誌は通常貸出です。

貸出可能な短大の視聴覚資料(ビデオカセット・DVD・CDなど)は、大学 - 短大間貸出 / 返却サービスの対象資料です。

- ・ 体育祭のため、10/17(水)は閉館します。
- ・ 常磐祭のため、11/9(金)～12月)は閉館します。
- ・ 詳細や変更は掲示にてお知らせします。

編 集 後 記

試験期に入ると、図書館も日々慌ただしくなってきました。書架も乱れ、必要な図書がみつからなかったり、予約をかけても返却されずに利用できなかったという経験はありませんか。切り取りや書き込みも発見されます。

お互いにマナーを守って、皆さんの資料・図書館を活用していただけたらと願っています。

Library Mate 第26号 2001年7月

発行所 実践女子大学図書館
 東京都日野市大坂上4-1-1
 URL:<http://www.jissen.ac.jp/library/>
 実践女子短期大学図書館
 東京都日野市神明1-13-1
 URL:<http://www.jissen.ac.jp/library/jcol/>
 発行責任者 板垣弘子